



「シニアと学校を結ぶセカンドライフ塾」御一行

当愛知県埋蔵文化財調査センターでは、考古学や歴史、調査センターの活動に興味をもたれている方々や団体を対象に、施設見学や研修を受け入れています。ご希望の方は当調査センターの調査研究課に連絡ください。調査センターの開館時間は平日の午前9時から午後4時まで、土日、祝日、年末年始は開館しておりません。但し10月31日(土曜日)、11月1日(日曜日)と11月3日(火 祝日)は朝日遺跡の重要文化財の展示公開を兼ねて開館しております。是非とも当調査センターを訪ねてください。

朝日遺跡出土の重要文化財指定遺物17点が下関市考古博物館へ貸し出されました。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは国の重要文化財に指定されている朝日遺跡出土遺物の多くを収蔵、保管しています。今回はそのうちの17点が下関市考古博物館に、愛知県教育委員会の職員の立会のもとで貸し出されました。貸し出された遺物は9月19日(土曜日)から11月15日(日曜日)まで開催(9時30分～17時00分開館、祝日除く毎週月曜)される『下関市考古博物館開館20周年記念特別展 綾羅木郷(あやらぎごう)遺跡とその時代 -環濠集落 事始め-』で展示されます。

貸し出された17点は、壺、甕(かめ)の弥生土器の他、磨製石斧、ヒスイ勾玉などの石器・玉類、ヤス、鉋(もり)などの骨角器です。他に清須市にある県の施設である貝塚山貝塚資料館からも石包丁など2点の重要文化財が貸し出されました。

会期中にお近くに行かれる方は是非ともお立ち寄りください。



重要文化財を梱包する

綾羅木郷遺跡・・・山口県下関市綾羅木に所在。弥生時代を中心とする集落遺跡。昭和44年に国の史跡に指定されている。

ヤスと鉋・・・共に主に魚類を捕獲するために使用される。獣骨や鹿の角などで造られることが多い。鉋には「かえり」が付く。「かえり」は獲物を刺した際に、本体が抜けないように先端や本体の一部が鋭く鋭角的に曲がっている状態をいう。ヤスにはこれがなく、全体が棒状で先端が鋭く尖っている。

愛知県埋蔵文化財調査センター  
下関市考古博物館開館20周年記念特別展  
**綾羅木郷遺跡とその時代**  
—環濠集落 事始め—

平成27年9月19日(土)～11月15日(日)

下関市考古博物館 特別企画展示室  
〒747-8501 下関市下関1-1-1 電話:083-942-1111 FAX:083-942-1112

◆観覧料  
観覧料 大人200円(税別) 小学生100円(税別) 中学生150円(税別) 高校生150円(税別) 中学生以下は入館料別途

◆観覧時間  
9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

◆休館日  
毎週月曜日(祝日を除く)

◆お問い合わせ  
083-942-1111

◆アクセス  
下関市考古博物館

展示案内

8月20日、平成27年度高校生のための考古学サマーセミナーを開催しました。

8月20日(木曜日)、調査センターで考古学に関心を持つ県内の高校生を対象に、平成27年度「高校生のための考古学サマーセミナー」を開催し、12名の高校生が参加しました。

所長のあいさつの後、講座1として考古学と発掘調査について講義を行いました。職員から考古学の特徴と遺跡の発掘調査の目的、調査センターの役割や考古学を学ぶための進路選択について話をしました。



講義風景

講座2では2班に分かれ、館内見学を行いました。(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター職員の協力のもと、生徒は遺物の整理作業や科学分析室・木製品処理室など、普段見ることのできない作業を見て、強い関心を寄せていました。また、女性の作業員さんが多く働いていることに驚いていました。



施設見学

午後の講座3では、「モノ」からみた歴史の移り変わりについて学びました。まず職員が焼物の種類を説明したあと、「土器・ど・キット」を用いて遺物を時代順に並べる実習を行いました。答えあわせの後は縄文時代から江戸時代までの遺跡から出土した完全な品に近い土器や陶器をならべ、実際に手に取ってもらいました。生徒たちもそれぞれの時代の特徴や、考古学の物の見方、捉え方を学ぶことができました。



遺物を並べる実習



土器に触れてみる

講座4では拓本を行いました。朝日遺跡を簡単に説明したあと、朝日遺跡から出土した土器を使った実習に移りました。模様が細かく難しいものもありましたが、出来上がった拓本をしおりに仕上げました。全員、自分たちで作ったしおりに満足げでした。



拓本作りの様子

セミナーに参加した生徒の感想は、「今回は良い体験だった」、「弥生土器の赤と黒がきれいだった」、「拓本・土器を持つなどなかなか体験できないことだったので、参加して良かった」など、考古学に更に関心を深めてもらえたのではと思っています。

「高校生のためのサマーセミナー」は来年度も開催する予定です。次回も多数の高校生の参加を期待しています。

---

7月29日、岡崎高校の生徒が施設見学に訪れました。

調査研究課の鶴飼です。

7月29日(金曜日)に愛知県立岡崎高等学校2年生の生徒18名と引率の先生1名が、進路学習の一環として当センターを来訪しました。

蜷江所長のあいさつ後、佐藤調査研究課長から考古学や、発掘調査についての講義を受けました。



所長のあいさつ



講義の様子

講義が終わると、2グループに分かれて館内を見学しました。1階では遺物の整理作業や木製品の保存処理の方法、3階では出土遺物の収納状況や自然科学分析の方法について、愛知県埋蔵文化財センターの職員から説明を受けました。生徒らはメモを取りながら、考古学には理系の知識を活かす分野もあることを興味深く聞いていました。



自然科学分析の説明

館内の見学後は、拓本の体験です。拓本は土器や瓦などの模様を写し取る技法です。拓本の方法を説明した後さっそく実習に移りましたが、引率の先生も参加して全員楽しく作業を行いました。



拓本の実習

2時間という短い時間でしたが、実際に考古学に関する作業を見学して出土遺物に触れ、拓本体験を行ったことで、一層考古学に対して興味を持ったようでした。

7月3日、第28回埋蔵文化財調査研究会が開かれました。

調査研究課の鶴飼です。

7月3日(金曜日)に調査センターで埋蔵文化財調査研究会が開かれました。

この研究会は昨年度県内市町村で行われた発掘調査のうち、成果が目される遺跡について担当者が発表するとともに、各市町村の情報交換の場として毎年開催されています。



研究会の様子

今回は下記の9遺跡について発表がありました。

・豊橋市若宮遺跡...豊橋市教育委員会 小山美紀氏

弥生中期から古墳時代にかけての建物跡と、環濠が確認されました。環濠は集落内部を用途により区画したと考えられています。

・豊田市豊田大塚古墳...豊田市教育委員会 森泰通氏

豊田市を代表する古墳の整備に伴う試掘調査です。横穴式石室の構築方法に新たな成果が確認されました。

・岡崎市平岩城跡...岡崎市教育委員会 山口遼介氏

名鉄東岡崎駅近くの遺跡です。古代・中世を中心とする建物跡が確認されました。

・瀬戸市夕日4号窯跡...(公財)瀬戸市文化振興財団 青木修氏

江戸時代後半に操業した窯跡です。公開調査や整備・保存に関わる課題について、報告がありました。

・名古屋市長古屋城本丸掘手馬出石垣(ほんまるからめてうまだしいしがき)・二之丸庭園...名古屋城総合事務所 市澤泰峰氏

本丸掘手(からめて)の石垣の修復工事と、二之丸庭園の史跡整備にかかる試掘調査について、報告がありました。

・名古屋市長古屋城西の丸...名古屋市教育委員会 木村有作氏

中世後半の土坑・堀が複数あることを確認しました。

・設楽町設楽ダム関連発掘調査...愛知県埋蔵文化財センター 川添和暁氏

西地・東地遺跡では縄文時代の炉跡・貯蔵穴、万瀬遺跡では中世の遺構が確認されました。

・豊田市テストコース関連遺跡

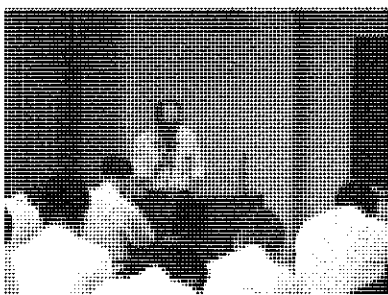
蔵平遺跡...愛知県埋蔵文化財センター 武部真木氏

斜面地で古代の炉を持つ竪穴建物跡が複数確認されました。古代の開発に関わる貴重な成果が上がりました。

上沢尻川周辺の遺跡...埋蔵文化財調査センター 猪飼雅弘

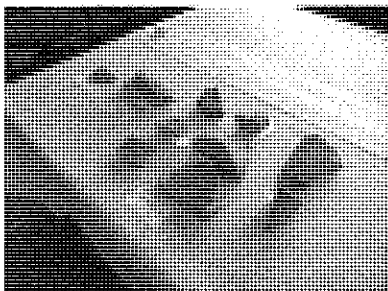
引地上切A遺跡では古代・中世の建物跡、オンボB遺跡では斜面を造成した平坦部で多数の土坑が確認されました。

このほか大府市鶴池東古窯、東海市畑間遺跡・東畑遺跡、豊田市東広瀬経塚についても、調査の概要について報告されました。



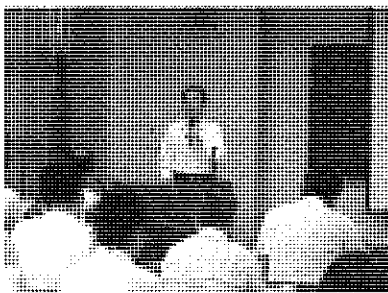
埋蔵文化財センター

また、休憩時には出土遺物の検討が行われるなど、情報交換も盛んに行われました。



東海市畑間遺跡・東畑遺跡から出土した瓦

すべての報告の終了後、調査センター所長笠江があいさつし、研究会を終了しました。



埋蔵文化財センター

報告者および研究会に参加された埋蔵文化財担当者の皆様、ご苦労様でした。

6月22日・26日に愛知東邦大学で出前講義を行いました。